

校区福祉委員会の活動

校区福祉委員会は、地域の中で起こっている生活上の課題を解決するために、次の活動を行っています。

ふれあい・いきいきサロン

地域の高齢者が集まり、気軽に楽しい仲間づくりや交流を行う

子育てサロン

子育て中の親子が集まり、遊びを通じて子どもの成長について学ぶ。育児相談あり

世代間交流

地域の高齢者から昔遊びを教わるなど、子どもと高齢者が交流しふれあう

個別援助

支援を必要とする人に対する見守り、安否確認、声かけ訪問などで個別援助を行う

あいさつ運動

あいさつから始まる地域の「わ」を、目ざし、児童などの見守り・声かけを行う

共生型サロン

子ども、高齢者、障がい者、誰もが気軽に集う

小地域ネットワーク活動は、小学校区を単位として、子ども・障がい者・高齢者などの地域で困っている人が孤立することなく、安心して生活できるように、福祉のまちづくしを進める活動です。

小地域ネットワーク活動

ちづくりを推進するためには、住民一人ひとりが「困っている人がいたら手助けしよう」「地域で支え合おう」という意識を持ち、行動することが大切です。

市内には、10小学校区福祉委員会があります。校区福祉委員会は、住民の生活に関わるさまざまな課題

校区福祉委員会活動

この活動は、地域住民を中心とした、民生委員・児童委員やボランティア、星友クラブ、青少年指導員、更生保護女性会、保護司、福祉施設、小・中学校、PTA、子ども会などの福祉関係団体から構成される「校区福祉委員会」が、取り組んでいます。

また、認知症や災害ボランティアなどの研修会を開催するなど、活動は多岐にわたります。地域福祉の担い手として、活躍が期待されています。

や二ス把握し、地域で支え合うために見守りや声かけ、サロン活動、交流事業、研修会などの啓発事業を行っています。

近年では、一人暮らしの高齢者の懇談会や男性向けの喫茶サロン、障がい当事者がボランティアとして参画するサロンなど、それぞれの地域の特色を生かした取り組みが展開されています。



みんなで支える地域福祉

近年まで、障がい者・高齢者・貧困者など、何らかの支援が必要な人への援助が「福祉」と考えられてきました。

しかし、現在では、高齢化社会の到来に加え、深刻な経済状況が続く中、孤独死や認知症患者の徘徊、児童虐待、ごみ屋敷など、新たな社会問題が課題となっており、普段の暮らしの幸せが、誰にとっても必要な「福祉」へと変わってきています。

制度のはざまや複数の福祉課題を抱えるなど、既存のサービスでは対応困難な事案の解決に取り組む「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」の存在を知り、地域で安心して暮らすための、地域福祉活動について考えてみましょう。

問い合わせ 社会福祉協議会 (TEL)0050-11805

CSWの役割について

CSWは、「福祉のなんでも相談員」で、悩みを一緒に考える専門職です。

一人暮らしやひきこもり、ごみ屋敷などの課題の解決や地域福祉を構築する上で、重要な役割を果たしています。

25年度の相談実績		
相談実人数	62人	
相談延べ件数	278件	
相談内容件数	433件	

※相談内容

- ▽経済的、家の問題について (131件)
- ▽心理的、精神的問題について (100件)
- ▽地域生活について (66件)
- ▽社会参加、生活の質の向上について (42件) など

地域福祉って、どんなこと?

地域で起るさまざまな問題に対して、地域住民一人ひとりが主役となり、誰もがより良く生きることを目指す住みよくなるまちづくりを、地域の状況に応じて計画的に進める活動を「地域福祉」といいます。

誰もが安心して暮らせるま

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)って何する人???



「どこに相談したらいいの?」「相談したけれど、サービスは使えないと言われた...」そういった生活上の困り事や悩み事を伺い、内容に合った制度・サービスを紹介します。

困り事や悩み事の解決に向けて、関係者に協力を促します。また、本人や家族、相談窓口との調整役になって解決に努めます。

地域で孤立することなく、住み慣れた地域で生活ができるように、安心して暮らせる福祉のまちづくりのお手伝いをします。

CSW 相談事例

～ CSW 中島麻也子さん (社会福祉協議会) からの報告～

「自殺願望の人を地域で見守る」

相談内容 他県に住む家族から、本人が死にたいと言っている、遠方のため頻りに家に行くことが難しく、近所付き合いもないため心配だと連絡がある。

CSWが行ったこと

- ▷ 民生委員と訪問し、様子をうかがう
- ▷ 近所の人に、普段の生活で心配な様子はないか聞いて回る

結果 地域の校区福祉委員会に相談すると、食事の差し入れなどをしてくださり、継続的な見守りができるようになりました。

「長年ひきこもりの20代男性への支援」

相談内容 無職でひきこもり状態。精神的な病気でリストカットも経験し、病院を転々としているが、何か人の役に立ちたいと思っている。

CSWが行ったこと

- ▷ 保健所や障がい福祉課に相談する (病院や障がい福祉サービス、施設の自助グループなど)
- ▷ ボランティアとして、高齢者施設の受け入れが可能か施設のCSWに相談する

結果 本人と一緒にボランティアに参加した際に、人の役に立つことを実感されたようでした。このことが自信につながり、一人で出かけられるようになりました。

